

持続する地域農業の推進

活動対象: 旭川市旭正共栄地区17戸

特徴ある米づくりとして特別栽培の高品質安定生産への支援を行い、導入面積が拡大した。水張り確保のため直播栽培を支援し、導入に向けて意欲が高まった。施設園芸では葉菜類の疎植栽培により、収穫・調製作業が省力化し生産性が向上した。また、地域の担い手の育成として法人従業員に向けて水稻及び新規導入作物の栽培研修会を実施し、作物栽培の基本技術の必要性が理解された。

1 課題の背景

- ・水稻は、特徴ある売れる米づくりとして取り組む「ゆめぴりか」特別栽培の維持・拡大、及び地域で導入されつつある省力化技術による安定生産が課題となっている。
- ・施設園芸は、主要品目であるこまつなの高温期における安定生産が課題となっている。
- ・地域の担い手である法人従業員は非農家であり、農業の基礎を学ぶ機会が求められている。

2 活動内容

(1) 農産物の安定生産

① 特別栽培「ゆめぴりか」の高品質安定生産（対象9戸）

有機質肥料「マイフィッシュ（以下MF）」の使用を提案
基準田の生育状況把握と個別巡回での情報提供

② 水稻省力化栽培技術の導入（対象10戸）

JA・直播研究会と連携による生育状況把握と
栽培管理支援

③ 葉菜類の栽培管理の改善(こまつなの栽培改善)（対象3戸）

適正な施肥・株間の提案と実証ほ設置



(2) 地域の担い手の育成

① 担い手の水稻栽培技術の向上（対象10戸）

育苗管理・病虫害防除に関する研修会を開催

② 担い手の園芸栽培技術の向上（対象3戸）

JA・旭川市農業センターとの連携による
新規作物の養液栽培支援



3 活動成果

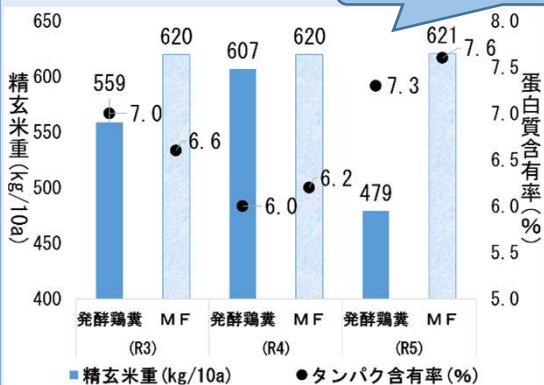
(1) 農産物の安定生産

① 特別栽培「ゆめぴりか」の高品質安定生産

(収量600kg/10aかつ蛋白質含有率6.8%以下出荷戸数

現況2→目標4→実績0戸)

R5年は異常高温で高タンパクとなったがMFは収量が安定



重点地区10a当たり収量とタンパク含有率(9戸平均)

② 水稻省力化栽培技術の導入

(乾田直播栽培導入農家戸数

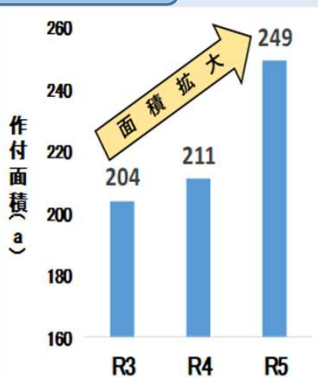
現況0→目標1→実績0戸)

区分	移植栽培 (hr/ha)	ドローン直播 (hr/ha)
育苗	33.4	0
播種・移植	9.0	3.3
その他	36.8	39.6
合計	79.2	42.9

* 移植栽培は生産技術体系(第5版)より記載
* 直播栽培は農業者からの聞き取りを基に記載

直播費用の移植対比(円/10a)

労賃	資材費	肥料費	農薬費	委託費	合計
-9,394	-6,357	-824	6,623	1,553	-8,399



特別栽培米作付面積の推移

春作業の効率化のために、来年もドローン直播に取り組むぞ！



② 葉菜類の栽培管理の改善

(こまつなの栽培管理改善戸数 現状2→目標3→実績3戸)



疎植



慣行

種苗費は、20aハウス・2作型で3,766円削減

労働時間
2割削減

雇用費は家族2名とパート1名の場合で76,800円削減

これまでの年5回は種が6回は種となりにできるようになり約60万増収

	株間 (cm)	10a株数 (株)	製品収量 (kg/10a)	収穫調整 労働時間 (分/箱)
疎植	6	83,333	1,667	36
慣行	4	125,000	1,786	45

地区外2戸に波及

部会全戸で取り組めば約1千万円増収だ!

来年は株間を7~8cmまで広げたい

収量はほぼ同等

(2)地域の担い手の育成

① 水稻栽培技術の向上 (栽培講習会出席農家戸数 現況1→目標4→実績2戸)

従業員からは



社長はカメムシのすくい取りが上手いなあ

草刈りをするると害虫が減るんだな。作業が大事な理由が分かったよ。



法人間の情報交換



② 野菜栽培技術の向上 (栽培管理の習熟度75%達成農家数 現状0→目標2→実績1戸)

なす栽培技術

普及対象

3戸

うち

取組戸数

1戸

項目	評価
2本仕立ての方法	○
芽かき	○
下葉除去	○
1番花除去	○
切り戻し	○
病虫害防除	○
収穫適期の判断	○
習熟度75%以上	○

従業員からは



二本仕立て、切り戻しも大丈夫

他地区へ波及

来年は増棟するよ



俺も作ろうかなあ

4 今後の対応

(1) 農産物の安定生産

① 特別栽培「ゆめぴりか」の高品質安定生産

提案した施肥は導入が進み、他地区に波及しているため課題を終了する。

② 水稻省力化栽培技術の導入

高密度短期育苗等の栽培を支援し、地域内で省力化技術の共有化を図る。直播栽培ドローンは種は、倒伏を軽減する技術について支援する。

③ 葉菜類の栽培管理の改善

高温期における疎植栽培の定着・波及が確認できたため課題を終了する。

(2) 地域の担い手の育成

① 担い手の水稻栽培技術の向上

法人従業員は経験年数が短く、経営者の要望も強いいため支援を継続する。

② 担い手の野菜栽培技術の向上

ハダ二等の病虫害防除、適正施肥等の改善項目を課題化し支援を継続する。